

新年を迎えて

財団法人福岡アジア都市研究所 理事長 安浦 寛人

あけましておめでとうございます。

昨年は、霧島新燃岳の噴火に始まり、東日本大震災や原子力発電所の事故、台風12号による記録的豪雨、海外でもアラブの春と呼ばれる一連の政変や欧州の経済危機等、未曾有の自然災害、大事故、政治経済の大変化がありました。今年は、穏やかな一年であるように心から祈ります。

昨年の大変化の中でも、過去半世紀の情報通信やエネルギー等の科学技術の急速な発展が、人類社会を大きく変えて来たこと、さらにはこれらの技術がこれからも人類社会全体を大きく変えようとしている事がわかります。情報通信技術は、東日本大震災の中でも種々の情報を人々に発信し、多くの人命を救いました。一方、アラブ諸国では、facebookなどの新しい情報通信技術によって、政権が倒され、国の体制が作り変えられようとしています。我々日本人は、福島事故で原子力エネルギーの制御の難しさを身をもって体験しました。

このように、世界の大きな変化の中で、グローバル化とフラット化が進んでいます。科学技術と各地域での市民生活をどの様に調和させて行くかが大きな課題として再認識されています。国境を越えた経済活動やエネルギー・環境問題は、世界の中でそれぞれの地域や都市がどのように連携し、国を超えた新しい人類社会の秩序を作っていくべきかという問題を我々に問っています。各地域での人々の暮らしが、いきなり国際的な活動や問題と結びつく時代に入っているのです。

福岡アジア都市研究所は、このような世界の変化の中での福岡の都市戦略の提案を行っています。そのためには、地道な資料の収集と分析、継続的なアジア諸都市との交流と情報交換、そして市民の皆様との不断の意見交換が必要です。

市民の皆様が開かれた研究所として、新しい福岡の未来を描いて行く福岡アジア都市研究所を、今年もよろしく願い申し上げます。

今月のおすすめ

日中国交正常化-田中角栄、大平正芳、官僚たちの挑戦-中公新書2110

服部龍二著 2011年5月 中央公論新社 発行

第11回大佛次郎論壇賞を受賞し、日中国交正常化40年を迎えた今年、おすすめの本1冊です。内容は「1972年の日中国交正常化を自ら集めた史料や証言を使って「いまに生きる歴史」として劇的に再現。日中関係の原点に立ち返り、台湾や尖閣諸島など現在に続く問題を考察した。(2011年12月19日朝日新聞朝刊30pより)」となっています。

以下 目次を紹介します。

序章 北京への道

第1章 田中角栄と大平正芳 - 二つのリーダーシップ

第2章 ニクソン・ショック - ポスト佐藤へ

第3章 田中内閣成立と竹入メモ - 最初の接触

第4章 アメリカの影 - ハワイでの田中・ニクソン会談

第5章 台湾 - 椎名・蔣経国会談という「勸進帳」

第6章 田中訪中と「ご迷惑」スピーチ - 交渉第一日(1972年9月25日)

第7章 周恩来の「ブラフ」、大平の「腹案」 - 交渉第二日(9月26日)

第8章 尖閣諸島と田中・毛沢東会談 - 交渉第三日(9月27日)

第9章 日中共同声明と日台断交 - 交渉第四～六日(9月28～30日)

終章 日中講和の精神

また、第7回受賞作「和解のために - 教科書・慰安婦・靖国・独島 -」朴裕河著、佐藤久訳 2006年 平凡社発行(当資料室は2011年7月発行の文庫版を購入)と第8回受賞作「反貧困 - 「すべり台社会」からの脱出 - (岩波新書新赤版1124)」湯浅誠著 2008年4月 岩波書店発行を併せて購入しました。現代の抱える問題を改めて考えてみませんか？



ニュース!

第1回 市民フォーラム 福岡城・鴻臚館を観光都市福岡のランドマークに！が開催されました。

平成24年1月10日火曜日、アクロス福岡 国際会議場にて当研究所が後援し、福岡城・鴻臚館の将来を市民と考える実行委員会が主催する第1回市民フォーラムが開催され、約230人の市民の方が参加されました。3月下旬に第2回目を開き、さらに議論を深める予定です。

* ご希望の資料がございましたらご連絡下さい。TEL:092-733-5707 FAX:092-733-5680 E-mail:library@urc.or.jp
その他の資料につきましては当研究所ホームページ内 (<http://www.urc.or.jp/>) の蔵書検索をご利用下さい。

* 利用案内/場所：福岡市役所北別館 6F 開室：月曜日～金曜日 10:00～17:00

貸出：1人5冊まで 2週間以内(貸出には身分証明書が必要です。) 毎月末業務日(今月は1月31日火曜日)は休業です。

* 福岡市役所1階の情報プラザで本が返せます。専用の返却ポストに入れてください。平日はもちろん、土・日・祝日も朝9時から夜8時までOK! ただし、2月25・26日情報プラザはお休みです。